

ほろこ

No. 18
2006 Summer

がんしょうざん
含松山
臨南寺



大本山總持寺贈西堂・当山二十二世重興
前任職・朴洲剛毅大和尚の三回忌法要
が
営まれました。

平成十六年七月二日に永眠いたしました
前任職、朴洲剛毅大和尚の三回忌法要
が、七月二日（日）、大本山總持寺貫首の
大道晃仙猥下をお迎えして、臨南寺本堂
にて執り行われました。

大阪府内外から、六十名にのぼるご寺
院様にご参列たまわり、出班焼香を修行
していただきました。これは、前任職の
お位牌に向かって一列に並び、お一人ず
つ焼香していただくもので、最大の敬意
を表すものです。



曹洞宗管長・大本山總持寺貫首の大道晃仙柴雲臺大禪師猥下

早いものでご遷化より丸二年が過ぎま
した。心よりご冥福をお祈りいたします。

弁財天万灯会 八月十二日（土）

弁財天は、知恵と財福
と音楽の神様。当山の弁
財天様も、合格祈願、芸
能上達、商売繁盛に靈驗
あらたかと伝えられてい
ます。

本堂前に、献灯を用意
しております。皆様の願
い事を書き入れ、お供え
して福を授かりましょう。
この灯火は、お盆の迎え
火でもあります。ご先祖
や亡き人へのご供養とと
もに、皆様の願いをご祈
念させていただきます。
お誘い合わせの上、お参
りください。



先住朴洲剛毅大和尚の 三回忌法要を終えて

七月二日、曹洞宗管長・大本
山總持寺貫首 大道晃仙紫雲臺大
禪師猊下にお出ましいたいただき、
先住朴洲剛毅（渡邊剛毅）大和
尚の三回忌法要を営ませていた
だきました。

府内外から六十人を超すご寺
院様に加えて、檀信徒を代表し
て総代・護寺会役員・元役員の方々
に、ご参列・ご焼香を賜わりま
した。

遷化（逝去）から丸二年間、
右も左もわからず勤めてまいり



開山堂に祀られている朴洲剛毅大和尚の像



臨南寺 住職

大澤正道

ましたが、三回忌を済ませほつ
としております。

禪師様には、法要後のお話で、

「先住老師には本山発展のためご
尽力いただきました。後住とし
て臨南寺興隆に尽くしなさい」
と有り難いお言葉を頂戴し、身
を引き締めております。

若輩の住職で、檀信徒の皆様
には何かとご迷惑をおかけいた
しますが、今後ともご指導のほ
どよろしく願ひいたします。

臨南寺 百景



鎮守様のお社

（りゅうが 椋伽白龍大権現）

かつて臨南寺の周りは広大な森
が広がり、「臨南の森」と呼ばれ
ていました。最深部になると昼間
でさえ陽光がさえぎられ、うかつ
に入ると迷ってしまうほど深く暗
い森であったといえます。昭和三
十年代までは十分にその面影を残
していました。

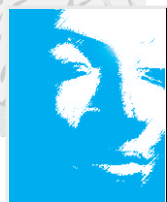
この森の奥深く、樹齢七百年と
いわれる巨大な椎の樹が、ひとき
わ大きな枝を広げてそびえ立っ
ていました。この樹には、白蛇が棲
んでおりました。万代池にも白蛇
が棲んでおり、二匹の白蛇は夫婦
であったとも兄弟であったともい
われています。ときおり、二つの
精が臨南の森を仲良く散歩する姿
を見かけたと伝えられています。

その白蛇様を「椋伽白龍大権現」
としてお祀りしているのが、本堂
前に建つお社です。このたび、新
たに建立いたしました。どうぞ、
お参りください。



お釈迦様ものがたり 11

提婆達多にそそのかされた王子のお話



前回お話しましたように、大教団に成長した仏教教団。お釈迦様は、布教の拠点をマガダ国に定めます。そこには最初の寺院である竹林精舎のほか、霊鷲山りやうじゆせんがそびえています。その山頂には僧院が作られ、お釈迦様もよく訪れました。

王子には出生の秘密があった

マガダ国の王子阿闍世あしやせは、生まれるとすぐに、父のピンピサーラ王の命令で高い塔の上から投げ落とされました。王と王妃には、長いあいだ子が生まれず、予言者に占わせると、山中に年老いた仙人がおり、二年後に死んで、王子として生まれ変わるといいます。

王はその二年が待てず、家臣を差し向けて仙人を殺してしまいます。王妃は身ごもりしましたが、予言者は「殺された恨みをもって生まれる子に、父王は殺されるでしょう」と予言します。

そこで生まれた阿闍世は、塔の上から落として殺されることになったのです。

しかし、王子は死なず、そのまま育てられるうちに、父王は王子を愛するようになります。やがて成長した阿闍世は、提婆達多にそそのかされ、父王を牢獄に閉じ込めて、食物を与えず餓死させようとします。

ところが一向に死ぬ気配がありません。王妃が蜂蜜で練った小麦粉を体に塗り、足飾りに水を入れてひそかに牢獄を訪れていたからです。それを知った阿闍世は、王妃も部屋に閉じ込めてしまいます。

阿弥陀仏への祈り

食物も水も断られた父王は、それでも死にません。牢獄の窓からお釈迦様のいる霊峰・霊鷲山を望むことができ、礼拝することで、心が喜びで満たされていたからだといえます。阿闍世は牢

獄の窓をふさぎ、父王の足を釘で打ちつけてしまいます。それでも父王は、阿闍世のために祈ります。「お釈迦様が息子を導きたまわらんことを」

王妃もお釈迦様の救いを求めて祈りました。『観無量寿経かんむりやうじゆきやう』には、そのときお釈迦様は神通力で王妃の部屋に現れたと伝えていきます。

「あなたの願いは阿弥陀仏によって聞き届けられるでしょう。一心に阿弥陀仏を念じなさい」

「でも、阿弥陀仏は西方十万億土という遙か彼方にいらつしやるのでは？」

「いいえ、あなたのすぐそばにおられます」

「私には見えませんが……」

「では、まず沈みゆく夕陽を思い描きなさい。阿弥陀仏はその方向にあり、救いの光を投げかけています。次に、静かな澄みきった湖を思い浮かべなさい。阿弥陀仏の国は、とても清らかなところですよ」

お釈迦様は、阿弥陀仏を念じる方法を丁寧に説かれました。やがて王妃の心は、深い平安で満たされたのです。今回は、阿闍世王の改心のお話をいたしましょう。

臨南寺行事予定（七〜九月）

檀家様

墓経

八月十日（木）午前十時〜十二時
八月十二日（土）午後七時〜九時

*両日ご都合のよい日にお越しください。臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。

弁財天万灯会（本堂）

八月十二日（土）午後六時〜九時

学問・財福・音楽、そのほかすべての願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託した献灯をたくさんお供えして、福を授かりましょう。

孟蘭盆会施食会

八月十六日（水）午前九時〜午後二時

受付は十二時半まで

各家のご先祖と縁の深い精霊のご供養のため、法要をとりおこないます。

写経会

九月二十日（水）〜二十五日（月）

午前十時〜午後四時

墓苑事務所にて受け付けております。お気軽にお申し付けください。費用千円

彼岸会施食会

九月二十六日（火）午後二時〜三時

受付は二時半まで

お彼岸は大自然にそとご先祖様に感謝する大事な期間です。家族そろってご参りをしご先祖様を偲び、自分が今あることを感謝いたしましょう。

墓檀家様

墓経

八月十日（木）午前十時〜十二時
八月十二日（土）午後七時〜九時

*両日ご都合のよい日にお越しください。臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。

自然に囲まれての日々



吉川 悟

平成十三年十二月より臨南寺に勤めさせていたが、本年末で五年になります。思い起こせば、お寺に来た当初は何もわからず、お寺さんや寺務所の先輩方に教えていただきながら、日々悪戦苦闘してまいりました。

当寺は長居公園に隣接し、市内にありながら自然に囲まれた豊かな環境にあります。季節ごとに野鳥のさえずりが聞こえてきます。これからの季節はセミの鳴き声が、夏を感じさせてくれます。

長居公園を散策していただきますと、ペットブームのせい、愛犬を散歩させている方を多数見かけます。私自身、動物は大好きですが、動物の苦手な方、アレルギー体質などの方にとってはどうでしょうか？ お墓参りに、日々たくさんの方が来寺されます。皆さんが、安心して気持ちよく、ご先祖様のお参りをしたいだけ願っています。

平成十四年度より早朝座禅を行っています。私自身、座禅を初めて体験し、いまだに「半跏趺坐」の状態ですが、心安らぐ時間を過ごさせていただいています。坐禅が初めてという方も、ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。お待ちしています。

マトリ合同法要行われる



五月十四日(日)午後二時からがつしよう園マトリの合同法要が営まれました。本堂で浄春寺(天王寺区夕陽丘)住職の佐藤徹亮老師の法話を聞いたのち、マトリに移り、読経が続くなかで焼香し、合掌いたしました。年々入会する方も増え、参列者も増えています。

墓苑寺務所からのお願い

寺務所前に駐輪場を新設しました。お墓は聖域であり、他のお参りの方の迷惑になりますので、自転車やバイクの乗り入れはご遠慮ください。



檀家総代と護寺会役員を募集します。

檀家総代二名、護寺会役員三名、それぞれお力添えくださる方を募集しています。住職も代わりましたので、一緒になって臨南寺を盛り立てようという方をお待ちしています。事務所あてにご報ください。

お気軽にどうぞ

早朝坐禅会

毎月第一土曜日 午前六時三十分～
* 一月・七月・八月は中止します。

写経会

毎月二十日 午前十時～午後四時
随時受付 写経料・二千元

※いずれも事前のお申込みが必要です。

「ほ～っと」18号

平成18年7月

編集・発行：りんなんじ 椋伽林「ほ～っと」編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

☎ 0120-711-493

TEL 06-6698-1001 FAX 06-6697-3330

Eメール: rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.rinnanji.com>

編集後記

マトリ合同法要で浄春寺の佐藤老師の法話から「今の日本、無宗教や無宗派をカッコいいという風潮があります。しかし、外国で無宗教を高言する人は信頼されません」。人に問われれば「仏教です」「曹洞宗です」と答えたものです。今号の内容はいかがでしたか? ご感想・ご意見をお寄せください。